

第12回 骨転移フォーラム

第4回 日本骨転移研究会学術集会

会期

2025年 2月1日(土)

会場

Junko Fukutake Hall

会長

尾崎 敏文 岡山大学学術研究院医歯薬学域
整形外科学分野 教授

当番
世話人

中田 英二 岡山大学学術研究院医歯薬学域
運動器外傷学講座

主催

特定非営利活動法人 日本骨転移研究会

共催

慶應義塾大学
次世代のがんプロフェSSIONAL養成プラン

主催

特定非営利活動法人 日本骨転移研究会

担当事務局

岡山大学学術研究院医歯薬学域

整形外科学分野

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

運営事務局

株式会社キョードープラス

〒700-0976 岡山市北区辰巳20-110

TEL : 086-250-7681 FAX : 086-250-7682

E-mail : bonemeta2025@kwcs.jp

<https://www.npobonemeta.org/>

参加者の皆様へ

本会はハイブリッド形式（現地会場／ライブ配信）にて開催いたします。

事後の録画配信はありません。

●参加申込方法 ※事前参加申込必須

以下フォームより、必要事項をご入力ください。

<https://forms.gle/g5uarXnLAUVC34GJ9> ▶▶▶▶



【参加申し込み期間】 2025 年 1 月 31 日（金）まで

●WEB 参加の方

Zoom アクセス情報は、登録完了後に追ってご案内いたします。12:45 入室開始予定です。

WEB からの質疑はできませんのでご了承ください。

●現地参加の方

参加登録をお済ませのうえ、直接現地にお越しください。

●お問い合わせ先

第 12 回骨転移フォーラム / 第 4 回日本骨転移研究会学術集会

運営事務局 株式会社キョードープラス

〒700-0976 岡山市北区辰巳 20-110

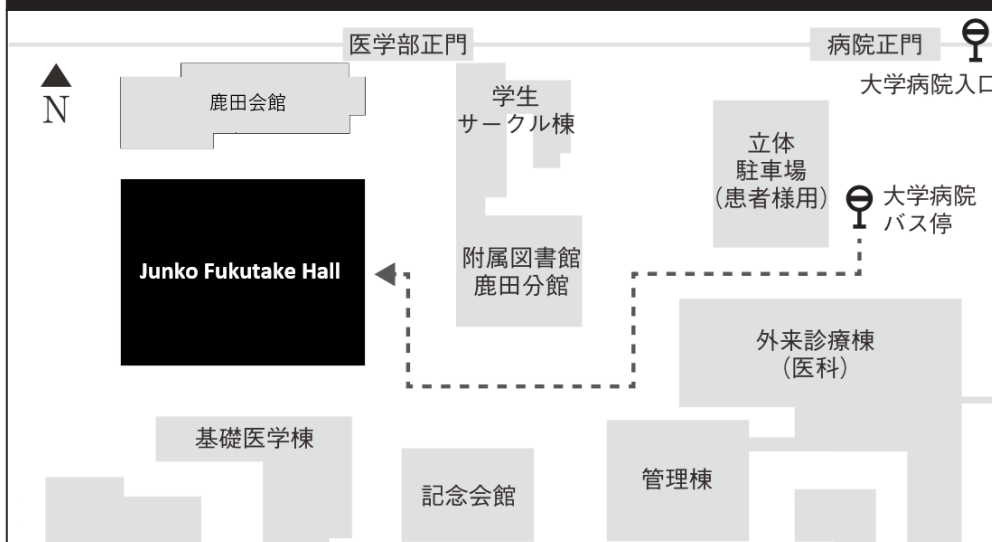
TEL : 086-250-7681 / FAX : 086-250-7682

E-mail : bonemeta2025@kwcs.jp

交通案内



OKAYAMA UNIV. < 岡山大学鹿田キャンパス >



- 岡山駅東口バスターミナル「4番乗り場」から「2H」系統の岡電バスで「大学病院」構内バス停下車 約10～15分
- 岡山駅東口バスターミナルから「12」・「22」・「52」・「62」系統の岡電バスで「大学病院入口」下車 約10～15分
- 岡山駅前（イコットニコット前または高島屋入口）から八晃運輸の市内循環バス「医大めぐりん」で「大学病院入口」下車 約10～15分
- 岡山駅タクシー乗り場からタクシーで約5～10分

※会場には専用の駐車場がございません。公共交通機関をご利用ください。

第 12 回骨転移フォーラム/第 4 回日本骨転移研究会学術集会 プログラム

2024 年 11 月 14 日現在

開会挨拶 13:00-13:05

会長 尾崎 敏文 岡山大学学術研究院医歯薬学域 整形外科学分野 教授

ミニレクチャー1 四肢骨転移の治療 13:05-14:10

座長 森岡 秀夫 国立病院機構東京医療センター 整形外科
片桐 浩久 静岡県立静岡がんセンター 整形外科

講師

骨転移診療ガイドラインに基づく四肢長管骨の治療方針

原 仁美 神戸大学大学院 整形外科

骨軟部腫瘍医と骨転移診療

中山 ロバート 慶應義塾大学医学部 整形外科

整形外傷医と骨転移診療：九州大学の取り組み

舩井 健太 九州大学病院 救命救急センター

外傷医と骨転移診療：連携構築と日本整形外傷学会の取り組み

野田 知之 川崎医科大学総合医療センター 整形外科

四肢骨転移に対する放射線治療

江島 泰生 獨協医科大学病院 放射線治療センター

ミニレクチャー2 脊椎転移の治療戦略 14:15-15:20

座長 高木 辰哉 順天堂大学 緩和医療科・整形外科・リハビリテーション科
城戸 顕 奈良県立医科大学 リハビリテーション医学講座

講師

骨転移の遠隔診療：リモートカンサーボード

佐藤 信吾 東京科学大学 整形外科

脊椎転移による麻痺を予防する診療体制の構築

中田 英二 岡山大学 整形外科

有痛性脊椎転移に対する体幹部定位放射線治療

中村 直樹 聖マリアンナ医科大学 放射線治療科

脊椎転移の multidisciplinary treatment

大島 和也 大阪けいさつ病院 脊椎・脊髄センター

脊椎転移における MIST の意義

中西 一夫 川崎医科大学 整形外科

シンポジウム 1 骨転移患者と運動

15:25-16:20

座長 柴田 浩行 秋田大学 臨床腫瘍学講座
余宮 きのみ 埼玉県立がんセンター 緩和ケア科

シンポジスト

当院での転移性骨腫瘍に対する骨修飾薬使用の経年変化

戸田 雄 佐賀大学医学部 整形外科学教室

脊椎 SRE 患者の術後の QOL

魚谷 弘二 岡山大学 整形外科

骨転移患者の QOL

福岡 奈津子 香川大学 整形外科

骨転移患者の就労阻害因子—がん治療と仕事の両立を運動器の観点から支援する—

澤田 良子 神戸大学医学部 整形外科

骨転移の疼痛マネジメント

鉄永 倫子 岡山大学 整形外科

多職種介入により在宅療養支援を行った股関節臼蓋部への甲状腺がん骨転移の 1 例

柏木 良幸 慶應義塾大学 がんプロインテンシブコース

シンポジウム 2 がん患者と運動

16:25-17:10

座長 河野 博隆 帝京大学 整形外科学講座
酒井 良忠 神戸大学大学院医学研究科 リハビリテーション機能回復学

シンポジスト

骨転移チームにより包括的な治療介入ができた事例

奥平 由香 パナソニック健康保険組合 松下記念病院
診療技術部 リハビリテーション療法室

がん患者が歩けることは生命予後改善につながるか

篠田 裕介 埼玉医科大学病院 リハビリテーション科

多職種連携によるがん口コモ予防

杉原 進介 国立病院機構四国がんセンター 骨軟部腫瘍整形外科

周術期患者のがん口コモ

堅山 佳美 岡山大学 総合リハビリテーション部

骨転移患者に対するリハビリテーションの重要性

明崎 禎輝 高知リハビリテーション専門職大学 理学療法学専攻

閉会挨拶

17:10-17:15

高木 辰哉 順天堂大学 緩和医療科・整形外科・リハビリテーション科